



## 瀬戸口 剛 「集約型コンパクトシティ計画 —人口減少時代の集落市街地集約化の方法論—」

工学研究院建築都市空間デザイン部門・都市地域デザイン学研究室

email: [setoro@eng.hokudai.ac.jp](mailto:setoro@eng.hokudai.ac.jp) 内線 6242 研究室HP <http://ur-design.eng.hokudai.ac.jp/>

夕張市において集約型コンパクトシティをわが国で初めて実践し、コンパクト化による適切な市街地形態への再編や、地域コミュニティ形成のための移転集住の仕組みづくり、都市基盤施設に係る維持管理費用の削減を進めている。集約型コンパクトシティへのプロセスとして、はじめの10年間は市街地内で集約化を進めて地域コミュニティを維持し、その後の10年間で都市軸となる中心拠点への集約化を推進する。これにより、都市をコンパクト化しながら住民は夕張市内に安心して住み続けることができる。すでに、夕張市と共同して、夕張市真谷地地区の地区内集約化事業を行い、住民の移転集約が完了している。

研究室の取り組みは研究論文やマスコミで公表され、同様の課題を抱える都市から多くの反響がある。

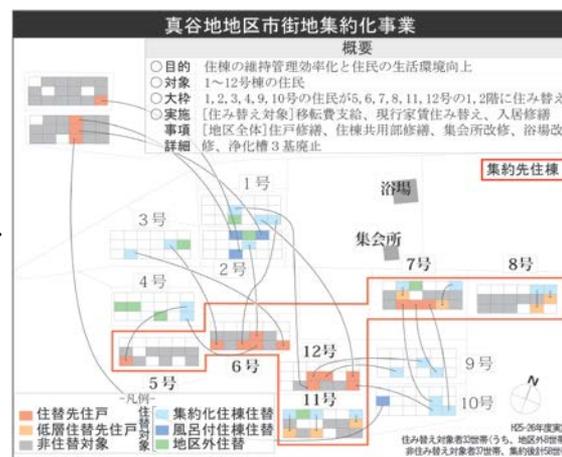
市街地集約化の方法論は、農村地域における市街地集約化にも応用できる。



当面の市街地像2020  
地区ごとにコンパクト化



将来の市街地像2030  
南北軸に市街地を集約化



真谷地地区集約化事業(2013-2014)

図 夕張市における集約型コンパクトシティ計画と集約化事業

### <社会実装への可能性> (3点以内)

地方都市における市街地集約化手法

農山村集落における集落市街地集約化手法

地域コミュニティの維持方策